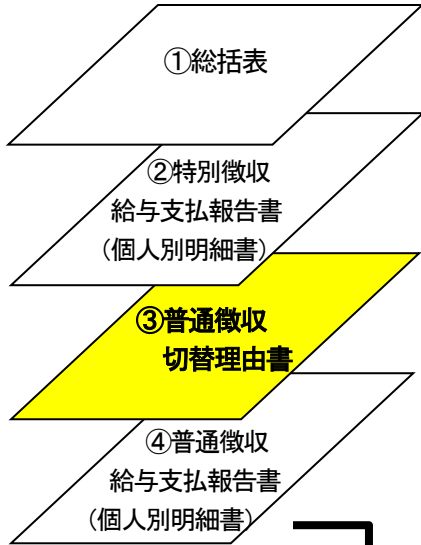


普通徴収 切替理由書について

従業員の方で特別徴収を行うことが出来ず普通徴収とする場合、「普通徴収 切替理由書」の添付が必要です。なお、普通徴収とすることが出来るのは「普通徴収 切替理由書」へ記載のある理由のみとなります。「普通徴収 切替理由書」は給与支払報告書提出の際、対象となる方をまとめていただき、その上に添付してください。

<給与支払報告書の重ね方>



【記入上の留意点】

- ① 「普通徴収 切替理由書」は、普通徴収対象者（特別徴収できない人）の給与支払報告書の上に付けて提出してください。特別徴収のみの場合は不要です。※左図参照
- ② 総括表の普通徴収欄の人数と「普通徴収 切替理由書」の合計人数が一致すること、および個人別明細書の摘要欄に略号の記入があることを必ずご確認ください。
- ③ 普A～普Dの4項目は特別徴収の例外になります。これら以外の理由による普通徴収の希望は認められません。
- ④ 表面と同一の項目が記入されていれば、任意の様式での提出でも構いません。

切り取り線

重ねた後クリップ等で留め、提出してください。

<給与支払報告書個人別明細書の書き方>

(摘要)

普D 令和6年3月31日 退職予定

未成年者	外国人	死亡退職者	災害者	乙欄	本人が障害者 特 別 その他	寡婦	ひとり親	勤労学生	中途就・退職 就職 退職 年 月 日	受給者生年月日		
									元号	年	月	日
									昭和	38	4	1

- ・○印内に記入があれば略号は不要です。
- ・また、退職予定者は退職予定日を摘要欄に記入してください。
- ・該当する略号を必ず記入してください。

普通徴収 切替理由書

指定番号 _____

名取市長 あて

事業所名 _____

普通徴収として取り扱うべき給与受給者の人数と切替理由ごとの内訳は下記のとおりです。

略号	切替理由（下記4項目以外の理由は不可）	人数
普A	他の事業所で特別徴収 として扱う乙欄該当者	人
普B	給与が少なく税額が引ききれない	人
普C	給与の支払期間が不定期（例：給与の支払が毎月ではない）	人
普D	退職者・退職予定者（5月末日まで）・休職者	人
普通徴収合計人数 ※総括表の普通徴収欄の合計人数と一致します。		人

(注意)

普通徴収とする場合は、個人別明細書の摘要欄に必ず略号（普A・普B等）を記入してください。ただし、乙欄該当者と退職者（予定者含む）は所定の欄にその旨の記入があれば省略可能です。なお、記入がない場合、特別徴収での取り扱いとなりますので、ご了承ください。